

本市の子育ての基本理念である「マイナス10カ月から つなぐ まなぶ かかわる 子育て」のもとで、その主要な役割を担う義務教育を中心として、子育て全般における切れ目のない教育を推進していくため、次のとおり「可児市教育大綱」を定める。

令和5年 6月 26日

可児市長 富田 成輝

可児市教育大綱

目指す方向

子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす義務教育を推進し、生涯にわたって学び、成長していく「可”可能性あふれる“児”を育てます。

重点方針

1. ひとりひとりに寄り添い、すべての子どもが安心できる学びの環境を創ります。
2. 家庭、学校、住民、企業、各種団体が子どもの成長への想いを分かち合い、地域みんなで協働を進めます。

4つの目標

1. 豊かな心を育みます
自分自身を認めることはもとより、命の大切さや相手を思いやる気持ち、良好な人間関係を築くために必要な豊かな心を育みます。
2. 共に生きるためのルールを守る意識を高めます
社会生活を営むうえで必要な礼儀、道徳、規則など、共に生きるためのルールを守る意識を高めます。
3. 夢に向かってチャレンジできるたくましい力を養います
学力・体力の向上をはじめ、社会や環境の変化、困難な課題に直面しても、夢の実現に向けて自分の考えを持ち、創造力を発揮して夢に向かってチャレンジできるたくましい力を養います。
4. ふるさとを愛し、社会に進んで貢献できる人を育てます
ふるさと“可児”への誇りを持ち続けながら、ふるさとの人、自然との関わりやつながりを大切に、地域社会の一員としてふるさとを愛し、社会に進んで貢献できる人を育てます。